



こぐまサークルニュースレター

2018年 11月号 霜月

川島町中山 1733-2 ☎ 297-3000

HP <http://tonegawayoutien.jp/>

## こぐまサークルでの体験

とねがわ幼稚園長 笛木 哲

4月にスタートした「こぐまサークル」は、夏休みの8月を除き、毎月回を重ねてきました。親子遠足、ちびっこ運動会、体操、小麦粘土で遊ぼう、ひも通し遊び等…様々な体験を通して親子の絆を深めてきました。子育ての環境も考え方も違う他の親子との出会い、交流は、気心の知れた親子の関係では得られない喜びや難しさを感じたことと思います。集団で生活すると言うことは、気を遣い、折り合いを付けるなど、自分のやりたいようにはできないということを学ぶことから始まります。我慢しなくてはならないことも、たくさんあります。でも、誰かがいたから喜びは二倍になり、悲しみは二分の一になります。それが集団生活のよさの一つでしょう。

12月にはクリスマス会、3学期には段ボール遊び、幼稚園ごっこ、今後も充実した活動を計画しています。これからも、「こぐまサークル」で、たくさんの親子と交流し、子育ての悩みや喜びを共有し、幼稚園等の集団生活に備えて欲しいと思います。

## みんな違っていいのです。他と比べない。

「わたしと小鳥とすずと」 金子みすず

わたしが両手をひろげても、  
お空はちっともとべないが、  
とべる小鳥はわたしのよう、  
地面をはやくは走れない。



わたしがからだをゆすっても、  
きれいな音はでないけど、  
あの鳴るすずはわたしのように  
たくさんうたは知らないよ。

すずと、小鳥と、それからわたし、  
みんなちがって、みんないい。



誰の心にも、優しく、温かく響く素敵な詩です。世の中には、  
たくさんの方がいます。しかし、決して同じ人はいません。顔や  
体つきばかりでなく、考え方も、性格も、得意なことも、生まれ  
育った環境も、みんな違っていています。違っているからこそ、「自  
分らしさ」「人と違う私」「個性」が生まれます。

とねがわ幼稚園の中をのぞいてみましょう。

やんちゃな子からは やんちゃな光  
おとなしい子からは おとなしい光  
気のはやい子からは 気のはやい光  
ゆっくりやさんからは ゆっくりやさんの光  
正直者からは 正直者の光  
男の子からは 男の子の光  
女の子からは 女の子の光  
教室も園庭も 光いっぱい



どの子もみんな個性いっぱい輝いています。園児が伸び伸び  
と楽しく過ごせ、一人一人が生き生きと活躍できる光あふれる  
幼稚園…そんな幼稚園をとねがわ幼稚園はめざしています。

## 子育ての Point

無邪気であることを許された子供の頃に戻りたいと思うこと  
があります。無邪気に遊んでいる子供たちは、かけがえのない一  
瞬を生きています。大人の尺度でなく、子供の目の高さになって、  
子供の気持ちに寄り添って一緒に成長したいですね。